

地域と大学

第18号

Newsletter No.18, Center for Education and Research in Lifelong Learning

自治体や市民組織・団体との連携講座の意義

生涯学習教育研究センター副センター長（教育学部教授） 菅野文彦

私は教育研究担当教員や副センター長を務めさせていただき、本センターと内外様々な位置・角度・距離で接してきた。昨年度から理事・副学長がセンター長を兼任されるなど大学経営層との風通しはよくなったが、専任教員2名と事務補佐員1名を中心に、運営委員会や事務方に支えられながらも、広範囲の用務を（公開講座や市民開放授業、各種のシンポジウムやセミナーの実施などに加え、今夏には社会教育主事講習も）抱えて少なからず孤軍奮闘気味にフル稼働しているセンター、との印象が一貫している。

本センターの使命は、「教育」「研究」と並び（「第三の機能」などとして）重視されてきた「地域貢献」「地域連携」の領域において、「生涯学習」の理念を基軸に、大学の知と市民の学びとを繋げることにあると言えよう。その意味で、大学主体の公開講座や授業開放も十分に意味深いですが、本稿で重視し焦点を当てたいのは、自治体やNPOなど市民組織・団体と結んで行く連携講座の意義である。

通常の公開講座にも、沼津市との連携講座やNPOと結んだスポーツ講座等が含まれている。加えて、富士川町や吉田町のように別枠の「特別公開講座」等として共同企画・実施を重ねてきているものや、「飛ぶ教室」と名付けて遠隔地の学習ニーズとの接点を探りつつ赴く単発講座（すでに大東町、土肥村、松崎町、春野町などで実施）もある。民間では、郷土史や外国文化等を学ぶ清水地区住民らの「有度国際セミナー」「エイジング・ブライツ倶楽部」や、棚田の運営を中心として自然農の研究・実践にとりくむ「清沢塾」、知的障害者向けの講座を運営する「静岡県知的障害者就労研究会」など、様々な組織・団体の方々と様々なパターンでの連携を試みてきている。

「連携」の内実も、大学からの「持ちかけ」色が濃いものから、自治体や市民の主導性が強く我々の役割は講

師斡旋や広報ぐらゐに留まるもので、多様である。臨界面では、当然ながら摩擦も起きる。大学として大切にしたい価値・方向性と、市民の学習ニーズとのズレ。法人化以前からの制度的・事務的な慣行や制約（営利色の強い場合など、学外からの連携の提案をお断りする例もある）。それらを調停し乗り越えてこそ、大学の「地域連携」の内実が磨かれて「研究」や学内「教育」に向けても有意義な触発が生じ、また社会的なニーズとの関連で大学の立つべき位置も探られるのだと考える。

10月には全国国立大学生涯学習系センター協議会の公開講座分科会に参加する機会があり、人的規模や施設・財源面その他で羨ましい事例などに接するとともに、多くの大学で類似のセンターが「連携」をめぐる様々な困難と格闘していることも知った。

講座開始時刻のはるか以前から来場し最前列を確保して待ち受ける、あるいは終了後に熱心な質問を寄せ続ける受講生の熱意。講師の「知」が市民に届き噛み合ったのだという実感。それらに支えられながら、自治体や市民組織・団体との連携の可能性をいっそう探っていきたい。学内教職員には当方からの無理も多いお願いへの対応や新たな連携の提案を、自治体や市民の皆様には大学への様々な注文や依頼・提案を、今後ともお願いしたい。



2008年度静岡大学公開講座が開催中です

1978年から始まった静岡大学公開講座も、今年で30年目という節目の年を迎えました。今年度は、以下の表のとおり、5月から来年2月にかけて多彩な15講座をお送りしています。それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座が開講されています。

東西に長い静岡県の地形を考慮し、静岡、浜松、沼津など、静岡県の県内各所で開講し、静岡キャンパス、浜

松キャンパスをはじめ、静岡市産学交流センター (B-nest) や沼津市立図書館などが会場となっています。また、一般の方を広く対象にした講座もあれば、子どもや親子、あるいは教員など、受講対象を絞った講座もあり、さまざまなニーズに応じて、多様な講座が用意されています。

すでに終了したものもありますが、実施結果については、次号の『地域と大学』でお知らせする予定です。

■公開講座の一覧

種別	講座名	講師	日時	対象	会場	定員	受講料	主催
教養を高める	データから読み解く現代社会～調査は何を明らかにできるのか?～	人文学部教授 平岡義和 人文学部教授 船橋恵子 人文学部教授 南山浩二 人文学部准教授 荻野達史 人文学部准教授 竹ノ下弘久 人文学部准教授 橋本 剛	5月17日(土)、24日(土)、31日(土) [全3回] 14:00～16:00	一般の方	静岡市産学交流センター (B-nest) 演習室1	30	各回500円	(生)
	聞いてびっくり! 日本語ゼミナール	人文学部教授 勝山幸人 人文学部教授 服部義弘 人文学部教授 城岡啓二 人文学部教授 熊谷滋子	9月27日(土) 9:30～17:30	一般の方	静岡市産学交流センター (B-nest) 第4演習室	40	2,000円	(人)
	浜松の戦争遺跡を探る	情報学部教授 荒川章二 県立掛川西高校教諭 村瀬隆彦 近代史研究者 竹内康人	10月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土) [全4回] 14:00～16:00	一般市民	静岡大学浜松キャンパス・浜松駅周辺の戦争遺跡	30	3,400円	(生)
	英語圏を味わう～「食」を通して触れる文化と文学～	人文学部准教授 山内功一郎 人文学部教授 久木田直江 人文学部教授 Steve Redford 人文学部教授 鈴木実佳	10月18日(土) 9:50～16:30	一般の方	静岡市産学交流センター (B-nest) 小会議室1・2	30	1,700円	(生)
科学・自然を楽しむ	体験・大学の化学実験	機器分析センター准教授 近藤 満 理学部化学科助教 仁科直子	8月9日(土)、10日(日) [全2回] 10:00～16:00	原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)	静岡大学静岡キャンパス 共通教育C棟205-北	20	2,000円	(生)
	身近な自然環境・里山との付き合い方	農学部教授 小嶋睦雄 教育学部教授 小南陽亮 植物研究者 富田 昇	8月30日(土)、9月6日(土)、13日(土) [全3回] 14:00～16:00	一般市民	沼津市立図書館	50	1,600円	(生)
	青空教室	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター准教授 河原林和一郎 助教 浅井辰夫 助教 八幡昌紀 技術専門職員 増田幸直 技術専門職員 西川浩二 技術専門職員 成瀬博規	11月1日(土) 9:45～12:15 (雨天決行)	小学生以上	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	40	500円	(農)
	情報学アラカルト講座	情報学部准教授 西垣正勝 情報学部教授 大島 純 情報学部准教授 大島律子 情報学部教授 漁田武雄 情報学部教授 西原 純	11月8日(土) 10:30～12:00	一般市民、及び本学の学生とその保護者	静岡大学浜松キャンパス 情報学部2号館教室	各50	各500円	(情)

種別	講座名	講師	日時	対象	会場	定員	受講料	主催
身体を動かそう	安全登山のための読図とナビゲーション技術	教育学部教授 村越 真 外部講師 宮内佐季子	9月14日(日) 9:00~16:00	登山・ハイキングを楽しむ一般市民	静岡大学静岡キャンパス	20	2,500円	教
	運動不足解消のためのエンジョイ大人卓球教室	教育学部教授 吉田和人 NPO法人卓球交流会 山田耕司	10月18日(土) 9:00~11:30 19日(日) 9:00~11:30	一般の方	静岡大学静岡キャンパス	50	3,000円	教
	女性テニス教室	教育学部教授 中野美恵子 教育学部教授 横山義昭 教育学部准教授 杉山康司 教育学部准教授 祝原 豊	9月30日(火)、10月7日(火)、14日(火)、18日(土)、21日(火)、28日(火)、11月4日(火) [全7回] 9:00~16:00	女性(一般市民)	静岡大学静岡キャンパス	24	7,400円	教
指導者を育てる	小学校英語活動スキル・アップ講座Ⅱ	教育学部准教授 矢野 淳 教育学部教授 林 正雄	8月21日(木) 10:00~16:00	静岡県内の学校教育教員	静岡大学静岡キャンパス	25	500円	実
	学校での危機管理～リスクマネジメントから心のケアまで～	教育学部教授 村越 真 教育実践総合センター准教授 小林朋子	8月19日(火) 9:00~17:00	学校教員、学校教育関係者	静岡市産学交流センター(B-nest)小会議室1・2室	20	1,800円	実
	UNO音楽教育ワークショップ2008	教育学部教授 北山敦康 教育学部准教授 志民一成 ネブラスカ大学オマハ校 Dr.Melissa Berke	11月29日(土) 14:00~17:00	静岡県内を中心とした小中学校の現職教員および本学教育学部学生	静岡市産学交流センター(B-nest)演習室4	40	2,900円	実
	地域活動を支える「力」がつく講座～学び方を学ぶ～	教育学部准教授 渋江かさね 神奈川大学人間科学部教授 入江直子 財団法人女性学習財団 池田和嘉子	2009年2月2日(月) 10:00~16:30 2月16日(月) 10:00~15:30	静岡県内で地域活動(NPO活動・社会教育活動など)を実践している方	静岡市産学交流センター(B-nest)	25	5,000円	教

[主催欄凡例]

- 〔生〕=生涯学習教育研究センター
- 〔人〕=人文学部
- 〔教〕=教育学部
- 〔農〕=農学部
- 〔情〕=情報学部
- 〔実〕=教育学部附属教育実践総合センター



ポスター



パンフレット(全24ページ)

2008年度静岡大学静岡大学社会教育主事講習が終了しました

社会教育主事講習とは、生涯学習・社会教育行政担当者、学校教員などを対象とした社会教育に携わる指導者育成をはかるための講習です。静岡大学が属する東海ブロック（静岡・愛知・岐阜・三重の4県）では、文部科学大臣の委嘱を受けて、静岡大学・愛知教育大学・岐阜大学・三重大学の4大学が交替で年に一度開催することになっています。

2008年度は静岡大学が担当し、26名の受講生を迎えました。7月25日（金）から8月23日（土）までの約1ヶ月間にわたり、静岡大学のほか、県立焼津青少年の家、同三ヶ日青年の家、同中央図書館、静岡市産学交流センターなどを会場として実施されました。

学校の夏休みが例年より遅く始まり、早く終わる関係で、講習日程はこれまで以上に過密なスケジュールとなりました。加えて猛暑の中での長期講習で、受講生にとっては厳しい日々だったかと思いますが、互いに支え合って26名全員が無事講習を修了され、社会教育主事の資格を授与される運びとなりました。

静岡大学の社会教育主事講習では、グループワーク・班単位での共同作業に大きな比重を置いています。今年度は、①「多文化共生と生涯学習社会の構築」、②「地域文化活動の体系化」、③「生涯学習計画の作成とその実施」、④「青少年の学校外活動」、⑤「生涯スポーツの展開とその組織化」、⑥「生涯学習社会における図書館の役割」を小テーマとして立て、6つのグループを作りました。結果的には従来より参加人数が少なく、1班あたり4～5人という小所帯になったにもかかわらず要求される作業量は同じで、本年度の受講生はとりわけ負担が大き



講義風景 (8/1)

かったかもしれません。他県からの受講者の中には、講習中一度も自宅に戻られなかった方々もいました。講義後や数少ない休日にも演習グループワークのための資料集めや施設訪問をしたり、職場の同僚に資料収集と送付を依頼したり、また受講生がチームワークを発揮しながら休む間もなく奮闘され、要求される課題を成し遂げることができました。その健闘に敬意を表したいと思います。

研究集録として上梓された論文も、各人毎ではなく、グループの共同作業でまとめ上げられ提出されます。読み合わせ、互いによる批評・助言、全体へのまとめあげなど、このために受講生と演習講師が費やした時間と労力は大変なものですが、それによって得たものも多々あるように感じられます。遠慮のない批判を通じて得られる自己の客観化、様々な背景を持ちながら対等な立場で進められるチームワーク、そして協力して学び合うことの充実感。何よりこの講習・演習で作上げられたネットワークは、各受講生にとって公私ともども大きな財産になるのではないかと思います。



三ヶ日青年の家でのカッター訓練 (8/15)



受講生のグループワークの成果「研究集録」

■日程表

月/日	内容				会場
7/25 (金)	10:00～12:00 開講式 オリエンテーション	13:00～16:00 生涯学習の意義 (角替弘志)			静岡大学 大学会館ホール
7/28 (月)	9:00～12:00 社会教育と社会教育行政 (手塚健郎)	13:00～16:00 生涯学習と社会教育 (伊藤俊夫)			
7/29 (火)	9:00～11:00 演習 社会教育施設見学	12:00～15:00 地域社会における学習支援システム (阿部耕也)	15:10～18:10 学習情報提供と学習相談 (松永由弥子)	19:00～21:00 演習 グループワーク	静岡県立焼津 青少年の家 (宿泊研修)
7/30 (水)	8:30～11:30 演習 野外活動	12:15～15:15 社会教育の内容・方法と形態 (渋谷かさね)	15:25～18:25 生涯学習関連施設の経営 (金子 淳)	20:00～21:00 演習 グループワーク	
7/31 (木)	8:30～11:30 生涯学習と学校教育 (猿田真嗣)	12:30～15:30 生涯学習と家庭教育 (林 のぶ)			
8/1 (金)	9:30～12:00 生涯学習社会とまちづくり (伊藤光造)	13:00～16:00 調査の意義と内容 (阿部耕也)	16:10～17:40 演習 社会教育施設見学		静岡市産学交 流センター/ 静岡市立御幸 町図書館
8/4 (月)	9:00～12:00 社会教育施設の経営 (森谷 明)	13:00～16:00 社会教育計画 (鈴木眞理)	16:10～17:40 演習 社会教育施設見学		静岡県立中央 図書館/静岡 県立美術館
8/5 (火)	9:00～12:00 社会教育と総合学習 (馬居政幸)	13:00～16:00 学習情報の提供システム (桑村佐和子)			静岡大学 共通教育P棟
8/6 (水)	10:00～12:00 大学の機能開放・拡充 (阿部耕也)	13:00～16:00 社会教育事業計画 (金藤ふゆ子)			
8/7 (木)	9:00～12:00 学習相談の方法 (松永由弥子)	13:00～16:00 社会教育の広報・公聴 (澤木久雄)			
8/8 (金)	9:00～12:00 地域社会と社会教育 (角替弘志)	13:00～16:00 社会教育の対象の理解と構造化 (野島正也)			
8/11 (月)	9:00～12:00 社会教育法制 (梅澤 収)	13:00～16:00 地域文化の活性化と大学 (小二田誠二)			
8/12 (火)	9:00～12:00 キャリア教育と生涯学習 (山崎保寿)	13:00～15:00 社会教育の評価 (原 義彦)			
8/13 (水)	10:00～12:00 演習 社会教育施設見学	13:00～15:00 欧米の社会教育の歴史 (菅野文彦)	15:10～17:10 生涯スポーツの理論と実践 (中野美恵子)	18:00～21:00 演習 グループワーク	
8/14 (木)	9:00～12:00 青少年の学校外教育の組織化 (白木賢信)	13:00～16:00 社会教育施設のネットワーク化 (金子 淳)	18:00～21:00 演習 グループワーク		静岡県立三ヶ日 青年の家 (宿泊研修)
8/15 (金)	9:00～12:00 博物館と文化活動 (金子 淳)	13:00～16:00 演習 野外活動	18:00～21:00 演習 グループワーク		
8/16 (土)	9:00～12:00 多文化共生の地域づくり (池上重弘)	13:00～15:00 文化財の保護と世界遺産 (柴垣勇夫)			
8/18 (月)	9:00～12:00 環境教育と食糧問題 (中井弘和)	13:00～16:00 国際協力とNGO (小嶋雅彦)			静岡大学 共通教育P棟
8/19 (火)	9:00～12:00 地域生涯学習システムと情報化 (河井孝仁)	13:00～15:00 わが国の社会教育の歴史 (花井 信)	15:10～17:10 社会体育の体系化 (中野偉夫)		
8/20 (水)	9:00～12:00 演習 グループワーク	13:00～17:00 演習 グループワーク			
8/21 (木)	9:00～12:00 演習 グループワーク	13:00～17:00 演習 グループワーク			
8/22 (金)	9:00～12:00 演習 発表会	13:00～16:00 演習 シンポジウム			
8/23 (土)	9:00～10:00 特別講義 (山本義彦)	10:00～11:00 閉講式			静岡大学 大学会館ホール

講師名簿

担当科目名	講義課題	氏名	所属・職名
生涯学習概論	生涯学習の意義	角替 弘志	常葉学園大学副学長
	生涯学習と社会教育	伊藤 俊夫	(財)日本生涯学習総合研究所理事
	地域社会における学習システム	阿部 耕也	静岡大学生涯学習教育研究センター教授
	学習情報提供と学習相談	松永由弥子	静岡産業大学情報学部准教授
	生涯学習関連施設の経営	金子 淳	静岡大学生涯学習教育研究センター准教授
	生涯学習と学校教育	猿田 真嗣	常葉学園大学教育学部教授
	社会教育の内容・方法と形態	渋谷かさね	静岡大学教育学部准教授
	生涯学習と家庭教育	林 のぶ	(社)国際女性教育振興会静岡県支部長
	生涯学習社会とまちづくり	伊藤 光造	(株)地域まちづくり研究所長
	社会教育と社会教育行政	手塚 健郎	文部科学省生涯学習政策局
社会教育計画	社会教育計画	鈴木 眞理	青山学院大学文学部教授
	社会教育事業計画	金藤ふゆ子	常磐大学人間科学部准教授
	社会教育と総合学習	馬居 政幸	静岡大学教育学部教授
	学習相談の方法	松永由弥子	静岡産業大学情報学部准教授
	学習情報の提供システム	桑村佐和子	石川県立大学教養教育センター准教授
	調査の意義と内容	阿部 耕也	静岡大学生涯学習教育研究センター教授
	社会教育の広報・公聴	澤木 久雄	SBS 静岡放送ラジオ局次長
	社会教育の評価	原 義彦	秋田大学教育文化学部准教授
	社会教育施設の経営	森谷 明	静岡県立中央図書館企画振興課長
	社会教育の対象の理解と構造化	野島 正也	文教大学人間科学部教授
社会教育特講	地域社会と社会教育	角替 弘志	常葉学園大学副学長
	博物館と文化活動	金子 淳	静岡大学生涯学習教育研究センター准教授
	大学の機能開放・拡充	阿部 耕也	静岡大学生涯学習教育研究センター教授
	青少年の学校外教育の組織化	白木 賢信	東京家政大学文学部准教授
	生涯スポーツの理論と実際	中野美恵子	静岡大学教育学部教授
	社会教育施設のネットワーク化	金子 淳	静岡大学生涯学習教育研究センター准教授
	地域文化の活性化と大学	小二田誠二	静岡大学人文学部准教授
	社会教育法制	梅澤 収	静岡大学教育学部教授
	地域生涯学習システムと情報化	河井 孝仁	東海大学文学部准教授
	わが国の社会教育の歴史	花井 信	静岡大学教育学部教授
	欧米の社会教育の歴史	菅野 文彦	静岡大学教育学部教授
	多文化共生の地域づくり	池上 重弘	静岡文化芸術大学文化政策学部教授
	文化財の保護と世界遺産	柴垣 勇夫	愛知淑徳大学文学部教授
	環境教育と食糧問題	中井 弘和	静岡大学名誉教授
	社会体育の体系化	中野 偉夫	静岡大学名誉教授
	キャリア教育と生涯学習	山崎 保寿	静岡大学教育学部教授
	国際協力とNGO	小嶋 雅彦	国際協力機構企画部
	社会教育演習 (野外活動)	海洋活動(カヌー)	宇佐美 徹
海洋活動(カッター)		高柳 真二	静岡県立三ヶ日青年の家主席指導主事
社会教育演習 (グループワーク)	1班: 多文化共生と生涯学習社会の構築	阿部 耕也 柴 雅房	静岡大学生涯学習教育研究センター教授 静岡県教育委員会生涯学習企画課
	2班: 地域文化活動の体系化	金子 淳 伊藤省三他	静岡大学生涯学習教育研究センター准教授 静岡県教育委員会文化課
	3班: 生涯学習計画の作成とその実施	渋谷かさね 白鳥容孝他	静岡大学教育学部准教授 静岡県教育委員会社会教育課
	4班: 青少年の学校外活動	松永由弥子 久米 昭洋	静岡産業大学情報学部准教授 静岡県教育委員会青少年課
	5班: 生涯スポーツの展開とその組織化	中野美恵子 望月 直他	静岡大学教育学部教授 静岡県教育委員会スポーツ振興室
	6班: 生涯学習社会における図書館の役割	森谷 明 田中 文雄	静岡県立中央図書館企画振興課長 元静岡県立中央図書館調査課長
	コーディネーター	菅野 文彦	静岡大学教育学部教授
	社会教育演習 (シンポジウム)	パネリスト	角替 弘志 満井 義政 渡辺 豊博
特別講義		山本 義彦	静岡大学理事・副学長

2008年度上半期（4月～9月）の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学ぶって楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学ぶって楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。大学のキャンパスを学びの場にしようという趣旨の企画です。

ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

■日時：2008年6月15日（日）9:00～12:10

■内容：

- ①「不思議感動！科学する心とは!？」講師：熊野善介（静岡大学教育学部教授）
- ②「現代ファッション事情～流行は誰が考えるの？どうやって決まるの？」講師：大橋芳幸（株式会社コックス商品開発部長）

■会場：静岡大学大学会館ホール

■参加者：静岡県の知的障害養護学校等卒業の社会人（18歳以上）、県立特別支援学校等の教員、青年学級等の関係者・保護者、静岡大学教育学部特別支援教育（障害児教育）専攻の学生、静岡県知的障害者就労研究会会員など

■参加費：無料

■参加者数：123人（うち学生34人、教職員その他38人）

■企画：静岡県知的障害者就労研究会



公開セミナー「学ぶって楽しい！」会場風景（現代ファッション事情）

共催事業

地域連携セミナー「アーウィン商会とマッケンジー夫妻の業績を讃える会」

駿府静岡歴史楽会との共催による地域連携セミナーとして実施。静岡茶がアメリカに輸出されていた時代の様子を記録に残す活動の一環として下記の方々をお招きし、マッケンジー夫妻に関する貴重なお話をお聴きました。当時アメリカで好まれていた緑茶の珍しい飲み方の体験もありました。

■日時：2008年6月1日（日）13:30～16:30

■会場：旧マッケンジー邸

■ゲスト：河智範次（アーウィン商会社員）

荒井桂吾（マッケンジー夫妻知人・写真家）

影山満（マッケンジー夫人知人）

■コーディネーター：小二田誠二（静岡大学人文学部准教授）

■参加者数：78人

■参加費：500円（資料代・茶菓代）

■主催：駿府静岡歴史楽会／静岡大学オールアバウトティー研究会／静岡大学生涯学習教育研究センター

■後援：あっぱれ会

文化講演会

「戦国時代の駿河」

有度国際セミナー・NPO法人エイジングブライツ倶楽部との共催により実施しました。

■日時：2008年9月12日（金）・16日（火）13:00～15:00

■会場：静岡市産学交流センター（B-nest）大会議室
（9/12）、プレ
ゼンテーション
ルーム（9/16）

■内容：

- ①9/12「五ヶ国領有期の徳川家康」講師：本多隆成（静岡大学名誉教授・放送大学静岡学習センター長）
- ②9/16「吉川氏、安芸へ」講師：小和田哲男（静岡大学教育学



文化講演会「戦国時代の駿河」チラシ

部教授)

- 参加費：2,000円 (全2回分)
- 参加者数：102人 (9/12)、111人 (9/16)
- 主催：有度国際セミナー／NPO法人エイジングブライイト倶楽部／静岡大学生涯学習教育研究センター
- 後援：静岡県教育委員会／静岡市

企画協力事業

富士川町・大学公開講座 「地域コミュニティづくり」

富士川町文化事業振興会主催で、当センターが企画協力した大学公開講座。この講座は、静岡大学のほか、静岡県立大学、常葉大学、東海大学の4大学がそれぞれテーマの設定や講師の選定を担当して実施されるもので、静岡大学では「地域コミュニティづくり」をテーマに企画しました。5回の講座を通して、地域の自然・歴史・文化を生かしたまちづくりを考えました。

■日時：2008年6月19日・6月26日・7月3日・10日・17日 (木)
[計5回] 19:00～21:00

■会場：富士川町中央公民館

■内容：

①6/19「歴史と文化を感じるまちづくり」講師：上利博規

(静岡大学人文学部教授)

- ②6/26「地震防災のまちづくり」講師：小山真人 (静岡大学教育学部教授)
- ③7/3「住民主体のまちづくり」講師：日詰一幸 (静岡大学農学部教授)
- ④7/10「自然の恵みと地域の活性化」講師：向井啓雄 (静岡大学農学部教授)
- ⑤7/17「地域文化を考える」講師：金子 淳 (静岡大学生涯学習教育研究センター准教授)

■参加費：3,000円

■参加者数：12人

■主催：富士川町文化事業振興会

■共催：富士川町・富士川町教育委員会

■企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

生涯学習教育研究センター運営委員会

当センターには、「生涯学習教育研究センター運営委員会」が組織されています。当センターの運営や組織について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。静岡大学の教員により組織され、定期的に審議をおこなっています。

運営委員名簿 (2008年度)

山本 義彦	センター長・理事・副学長
菅野 文彦	副センター長・教育学部教授
阿部 耕也	センター専任教員・教授
金子 淳	センター専任教員・准教授
小二田誠二	人文学部准教授
小西 潤子	教育学部准教授
横山 昌平	情報学部助教
塚越 哲	理学部准教授
菊池 光嗣	工学部准教授

竹之内裕文	農学部准教授
下村 勝	電子工学研究所准教授
佐藤 龍子	大学教育センター准教授

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座情報、大学開放事業などを掲載し、広報します。各種情報を当センターまでお寄せください。

URL <http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/>

地域と大学 第18号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

発行日—— 2008年11月30日

発行—— 静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(理学部B棟1階)

TEL&FAX: 054-238-4817 (資料室・受付)

E-mail : LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(事務局) 静岡大学研究協力・情報図書チーム TEL:054-238-4317